

社会が求める医療を



下川 宏明（しらかわ ひろあき）
福岡県出身。1979年九州大学医学部医学科卒業。同学循環器内科に入局。米国ニューヨークに留学後、飯塚病院循環器科科長、九州大学医学部附属病院助手・講師・助教授を経て、2005年に東北大学大学院医学系研究科教授に就任。2012年から東北大学医師会長。2013年、臨床研究推進センター長に就任。

地域の最後の砦として

「当院の循環器内科の特徴を教えてください。」

心臓病は、あつという間に悪くなりませんが、良くなる時もグングンとよくなる、変化が非常に速い病気です。どんな状況でも迅速かつ的確に対応できるようにするため、私たちは虚血グループ（狭心症、心筋梗塞など）、循環グループ（心不全など）、不整脈グループの3つの専門グループを設け、それぞれが高いレベルで、横に連携しながら診療する体制をとっています。

当院は、東北地区はもとより、広く東日本の循環器医療の最後の砦としての役割を担っています。特に心肺同時移植に関しては、国内3カ所の認定施設のうちの一つで、重篤な心不全や肺高血圧症の患者さんが全国から紹介されてきます。例えば、慢性血栓性肺高血圧症という肺動脈にできた血栓が完全に溶けきれずに肺高血圧になる病気がありますが、バルーンを膨らませて、血栓を肺動脈の壁に押し付ける肺動脈形成術（BPA）というような難易度の高い治療を行っています。閉経前後の女性に多い微小血管狭窄症という病気では、病態解明や診断、治療を求めて全国から

私は、受け持ち患者さんは自分の親だと思えとよく言っているんです。親だと思えば、検査や治療は必要最小限にするし、どんなに忙しくても朝と夜には会いに行くはず。心臓病は、すぐに命に関わります。お天道様は見ているという言葉がありますが、絶対に手を抜かず、自分に正直にすることが大切です。現在の医療は、研究者と患者さんの貢献により進歩してきました。自分の技術を過信せず、謙虚に患者さん本意の診療を行う、そして臨床の疑問を研究に橋渡しする。臨床と研究の両輪を真摯に続けていくことが明るい医療の未来を切り開いていくと考えています。

手を抜かず、自分に正直に

「日常診療においてはいかがでしょうか。」

医療技術が発展し、循環器内科医としては、カテーテル治療というような最新の技術に頼りがちですが、患者さん一人ひとりの病歴をよく聞き、問診と身体診察を十分にするというのが、診療の基本中の基本です。東日本大震災では、停電により機器が使えず、五感だけを頼りに診察しなければなりません。聴診器と血圧計だけで診断をつけて治療できるようにする、この基本は教室員にいつも強調して伝えています。

超音波による治療法の開発

重症狭心症

診断に用いられる強度と同程度の特種な超音波をあてると血管が増えることを明らかにし、超音波血管新生装置を開発しました。現在、重症狭心症を対象とした医師主導治験を行っています。この治療法は、麻酔や鎮痛薬、開胸などの手術処置も不要のため、高齢者や合併症を持つ重症患者にも適応可能と期待されています。



アルツハイマー型認知症

特殊な条件の超音波がアルツハイマー型認知症モデルマウスの認知機能低下を抑制することを見出し、2018年6月より、世界初となる臨床現場での探索的医師主導治験を開始しています。こめかみに超音波を左右交互に照射して安全性と効果を調べ、早ければ5年後の実用化を目指しています。



患者さんが集まってきました。冠動脈の造影検査を受けても異常が見えないため、更年期障害や自律神経失調症と間違えられることが多く、診断が難しい病気なのです。こういった、

当院でしかできない高度な知識と技術を必要とする医療を、地域の病院との連携のもとで、重症度に応じて提供しています。また、305カ所も医療機関と独自に地域連携ネットワークを構築し、24時間体制で緊急時の対応、相談にも応じています。

社会のニーズに真に応える

「新しい医療の開発について教えてください。」

現在、重症狭心症の患者さんに対する超音波治療法を開発中です。私が開発した衝撃波を用いて血管を増やす治療は既に世界25カ国で、約1万人の患者さんに使われていますが、超音波にこれと同様の効果があることを見つけて、治験を進めているところです。さらに、ある特殊な条件の超音波が、認知症に対して有効である可能性があることを動物実験で明らかにし、認知症患者さんに対する治験を実施中です。この他、1万人の心不全患者さんの情報を蓄積した世界最大級のチャート研

第5回心臓移植市民公開講座 「大切な人のために今知っておきたい最新治療」

【日時】11月24日(土) 14:00-16:00 (13:30受付) 【会場】仙台市中小企業活性化センター アエル5F 多目的ホール【参加費】無料【出演】下川 宏明、杉村 宏一郎、秋山 正年、林 昇甫、久志本 成樹、齋木 佳克、他【主催】一般社団法人日本循環器学会、一般社団法人日本心不全学会
第5回心臓移植市民公開講座実行委員会／詳細は以下ホームページをご覧ください。
<http://www.cardio.med.tohoku.ac.jp/news/index.html#1428>



東北大学病院 つながる健康講座 in くりはら 「心臓病の今とこれから」

【日時】11月25日(日) 13:30-15:40 (13:00開場) 【会場】栗原市若林総合文化センター(ドリーム・パル)大ホール【参加費】無料【講演】下川 宏明、中野 誠、高橋潤、他／詳細は以下ホームページをご覧ください。



<https://www.hosp.tohoku.ac.jp/release/event/15103.html>

